

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●鮫島克駿騎手がJRA通算400勝を達成

6月17日(土)の1回函館3日・第5レースではコルルディが1着となり、同馬に騎乗した鮫島克駿騎手(栗東・フリー)は、現役46人目となるJRA通算400勝(5641戦目)を達成しました。

### ●C.ルメール騎手がJRA通算1700勝を達成

6月17日(土)の3回東京5日・第6レースではアマンティビアンコが1着となり、同馬に騎乗したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は、史上15人目、現役では7人目となるJRA通算1700勝を達成しました。7985戦目での1700勝達成で、これは武豊騎手の8765戦を上回る史上最少騎乗回数での記録達成となります。

### ●岩田康誠騎手がJRA通算1万5000回騎乗を達成

6月18日(日)の1回函館4日・第10レースとして行われた檜山特別で、アメリカンエールに騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上17人目、現役では12人目となるJRA通算1万5000回騎乗を達成しました。

### ●重賞ウィナー4頭の競走馬登録抹消

2021年東京盃(大井・Jpn II)などの勝ち馬サクセスエナジー(牡9歳／栗東・北出成人厩舎／JRA通算21戦7勝・地方24戦6勝)、2023年テレビ東京杯青葉賞(G II)の勝ち馬スキルヴィング(牡3歳／美浦・木村哲也厩舎／JRA通算5戦3勝)、2023年福島牝馬S(G III)の勝ち馬ステラリア(牡5歳／栗東・齊藤崇史厩舎／JRA通算14戦3勝)、2020年福島記念(G III)の勝ち馬バイオスパーク(駄8歳／栗東・浜田多実雄厩舎／JRA通算41戦5勝)は、6月4日(日)までに競走馬登録を抹消されました。サクセスエナジーは宮崎県綾町の吉野ファームで種牡馬、ステラリアは北海道白老町の白老ファームで繁殖馬、バイオスパークはJRA馬事公苑で乗馬となる予定。スキルヴィングは5月28日(日)に行われた東京優駿(日本ダービー・G I)で、競走中に急性心不全を発症、死亡しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ペルピット、ユメノホノオが二冠達成【各地の主要3歳重賞】

北海優駿(6月15日、門別、2000m)は、2番手を進んだ北斗盃の覇者ペルピット(牡、父パピロ)が3コーナー過ぎに先頭に立って3馬身差で楽勝、単勝1.1倍の支持に応えて北海道二冠を達成しました。三冠の懸かる王冠賞(1800m)は8月29日です。高知優駿(6月18日、高知、1900m)は、出遅れて最後方を追走した単勝1.3倍で圧倒的人気の黒潮月賞馬ユメノホノオ(牡、父バトルプラン)が向正面で一気に追い上げを開始、3、4コーナー中間で逃げる浦和からの遠征馬ボリゴンウェイヴ(2着)を捉えて2秒1の大差を付け、高知二冠馬となりました。こちらは8月27日の黒潮菊花賞(1900m)で三冠達成に挑みます。

### ●6月28日の帝王賞(大井)で連覇を目指すメイショウハリオ

帝王賞(Jpn I、6月28日、大井、2000m)は、昨年の覇者メイショウハリオに、テーオーケインズ、クラウンプライド、ジュンライトボルトのドバイ遠征帰りとなる実績馬3頭や、新興勢力のプロミスウォリアとハギノアレグリアス、大井巧者ノットウルノが挑む構図となりそうです。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1仏オークス～ブルーローズセンが4馬身差の快勝

現地6月18日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG1仏オークス(3歳牡、芝2100m)は、最内枠のスタートから内ラチ沿いの3番手でレースを進めたブルーローズセン(牡3歳、父チャーチル)が残り400mで先頭に立って優勝しました。4馬身差の2着にアイルランドからの遠征馬で、G1仏1000ギニー5着のネヴァーエンディングストーリー。勝ったブルーローズセンはG1英2000ギニーやG1愛2000ギニーを制したチャーチルの産駒。昨年9月のG3オマール賞(芝1600m)で重賞初制覇を果たすと、続く10月のG1マルセルブーサック賞(芝1600m)も制してシーズンを終了。今年に入ってからも4月のG3グロット賞(芝1600m)と5月のG1仏1000ギニー(芝1600m)を連勝していました。マルセルブーサック賞、仏1000ギニー、仏オークスの優勝はアレフランス(1972~73年)、ディヴィアンプロポーションズ(2004~05年)、ザルカヴァ(2007~08年)に続く史上4頭目の快挙です。なお、手綱を取ったA.ルメートル騎手と管理するC.ヘッド調教師はともにこのレース初制覇となりました。